

血液内科を受診している「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」に
同意いただいた患者さんへ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	AMLにおける染色体核型と同種移植成績：アップデート解析
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	内科学講座(血液内科) 准教授 水野昌平
研究の対象となる方	2000年1月から2021年12月の間に第1もしくは第2寛解期で同種造血細胞移植を受けた急性骨髄性白血病(AML)患者さん 移植時の年齢が16歳以上 日本のデータは、「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」に同意いただき、日本造血細胞移植学会一元管理プログラム(TRUMP)データに登録されている方になります。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2027年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕AMLに対する同種移植における染色体リスクの予後への影響を詳細に評価することにより、移植医療の個別化・適正化を目的としています。 〔利用方法〕日本のTRUMPデータを解析します。全生存率、再発率、非再発死亡率、好中球生着率、血小板生着率、急性GVHD発症率、慢性GVHD発症率を染色体リスクにより比較し解析します。 〔外部への試料・情報の提供〕非該当 〔外部への提供開始日〕非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：第1もしくは第2寛解期で初回同種造血細胞移植を行ったAML患者さんの治療、治療効果、生存期間など。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	提供いただくTRUMPデータは個人識別が不能となっているので、提供希望しない患者さんのデータのみを利用しない対応はできません。
外国への試料・情報の提供	非該当

供	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 内科学講座（血液内科） 担当者：(職名)准教授 (氏名)水野昌平 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23540)